

<発表資料>

## - 社史・アーカイブ総合研究所 - 写真撮影時のポイント その2

前回は、写真撮影のポイントについて、下の囲みの(1)と(2)の説明をしました。今回は(3)の工場の撮影についてご説明します。

工場の撮影でのポイントは、(2)の事務所の撮影とほぼ同じです。つまり、事前に責任者との調整をしておくことです。

特にヘルメットや作業着、作業靴など安全管理に関わる事柄については、要注意です。モデルになる人だけでなく、遠景に入る可能性のある人も含めて周知徹底しておきます。

季節にも配慮します。半袖の夏服では無用の季節感を強調してしまいまずし、葉を落とした冬季の木立も同様です。その意味で、撮影計画は早めに立てることをおすすめします。

また、戸外の場合は、空の青さ、日光の角度によっても撮影できなくなるので、綿密な撮影計画と、雨天・曇天の予備日も設定しておきます。

ところで、電線や看板、あるいはその影などが写り込んでしまうことがあります。最近はコンピュータ処理技術の発達によって、かなり細かいものまで修正が可能ではありますが、それなりに費用はかかります。そういうものが入らないような角度から撮影が可能ならば、それを選ぶにこしたことはありません。

### 写真撮影時のポイントと注意点

#### (1) 社長・役員の撮影

撮影時間があまりとれない多忙な方々なので、あらかじめ機材をセッティングした部屋に入ってもらおう

#### (2) 事務所(執務風景)の撮影

内部の整理整頓や写ると支障のある物の有無など  
事前に責任者と確認・調整する

#### (3) 工場の撮影

ヘルメットや作業着など安全管理に関わる事柄には要注意

(本資料使用上の留意点について)

本資料は当社が独自に収集したデータを基に作成しております。その正確性と最新性の確保に努めていますが、完全性を保証するものではありません。調査、分析、統計処理等によってその都度データを更新する場合があります。当資料の内容に関するいかなる間違い、不掲載についても一切の責任を負うものではありません。資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎません。利用に際しては御自身でご判断くださいようお願い申し上げます。その他、当資料の取り扱い事項は当研究所の会員規約に準じます。

(著作権について)

本資料は当社の著作物であり、著作権法により保護されております。  
当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

## - 組織情報 -



ビジネスのDNAを次世代に伝える  
**出版文化社**

【代表者】  
代表取締役社長 木戸清隆

【創立】  
1984年2月6日

【資本金】  
99,234,300円

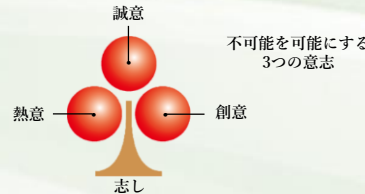


【東京カンパニー】  
東京都中央区新川1-8-8  
アクロス新川ビル4F  
TEL：03-6823-6820（代）  
【大阪カンパニー】  
大阪市淀川区西中島5丁目13-9  
新大阪MTビル1号館9F  
TEL：06-7777-9730（代）

【名古屋支社】  
名古屋市熱田区五本松町7-30  
熱田メディアウイング3F  
TEL：052-990-9090（代）

## Learning Organization

豊富な実績を基に多様な社史・記念誌づくりを提案します。  
編集は自社内で一貫して行っています。  
専門家＝アーキビストが常駐しています。  
品質管理、情報セキュリティのISOを取得している日本唯一の出版社です



-社史とアーカイブに関する日本初、唯一のシンクタンク-



# 社史・アーカイブ総合研究所

CORPORATE HISTORIES AND ARCHIVES RESEARCH INSTITUTE

社史・アーカイブ総合研究所は『社史・記念誌の有効活用と、ビジネス・アーカイブの普及への貢献』という大きな目標を掲げ、2019年に設立した専門研究機関です。社史とビジネス・アーカイブに関する情報の収集、コンテンツの企画と発信を行っています。

運営組織 社史・アーカイブ総合研究所  
英文 Corporate Histories and Archives Research Institute  
代表者 小谷允志  
設立 2019年10月1日  
研究員数 8名（東京6名・大阪2名）